

※敬称略

一部独特な表現がありますがなるべく文字で再現しようと努力した結果で
決して演者を貶める意図はありません

ゆんこん「はいはい。みんなー、サンタさんへのお手紙は書けたかなー？」
ゆんこん以外の三人「はい」
ゆんこん「んーそれじゃあプレゼントは何をお願いしたのか、聞かせてもらえるかなー？まずは
ゆうちゃーん」
ゆうちゃ「え、はい。えっと…わたしは、あのえっと…おにんぎょうさんがほしいですってかいた
の！」
ゆんこん「お人形さんかー！新しいお友達が増えるといいねー。うん、次は笑美ちゃーん。」
びらみ「あーい！え”っ”と”でー！あどでー！あた”ち”でー！あどでー！サッカーボールがほち
いってかいた”の”ー！」
ゆんこん「うん、サッカーボール！うん、いいね！いいね！お外で元気に遊べるねー！うん、う
ん！じゃあ有佐ちゃんは一？」
こーりー「はい！あたしはーアソビストアで発売中のミリシタ7.5周年を記念した記念限定商
品、ミリオンジュエルハーファニバーサリーエディションをおねがいたよ！」
ゆんこん「えええ！？それって、どーゆーものなのー？」
こーりー「えっとねー、ミリオンジュエルハーファニバーサリーエディションはー、ワンとツ
ー、二種類のセットが用意されていて、最大で15%もミリオンジュエルをお得に購入することがで
きるんだよ！」
ゆうちゃ「えっ！や、やっぱり私もそれがいい！」
びらみ「あ”ち”き”も”あ”ち”き”も”ー”！（低音）」
ゆんこん「こわいwww…こわいwww…」
こーりー「こうにゆうは、ワンとツーを、おひとり様、おひとつずつの購入なんだけどー、サン
タさんなら沢山買って皆にプレゼントしてくれるよねー！」
ゆうちゃ「それじゃあみんなで」
びらみ「お”ね”が”い”し”よ”う”」
ゆんこん以外の三人「サンタさん、私達にミリオンジュエルハーファニバーサリーエディション
をくださーい！！」
ゆんこん「んー、くれるといいね！みんなのお願い、ちゃんと聞いて、あっ…あら、あら…いい
子のプロデューサーの皆さん！サンタさんとは言わず、自分で、自分に、自分の力で！プレゼン
トしてみませんかー？どうですかー？その時はぜひ、アソビストアをチェックしてみてください
ねー！」

「はいはい。みんなー、サンタさんへのお手紙は書けたかなー？」

「はい」

「んーそれじゃあプレゼントは何をお願いしたのか、聞かせてもらえるかなー？まずはゆうちゃ
ーん」

「え、はい。えっと…わたしは、あのえっと…おにんぎょうさんがほしいですってかいたの！」

「お人形さんかー！新しいお友達が増えるといいねー。うん、次は笑美ちゃーん。」

「あーい！え”っ”と”でー！あどでー！あた”ち”でー！あどでー！サッカーボールがほちい
ってかいた”の”ー！」

「うん、サッカーボール！うん、いいね！いいね！お外で元気に遊べるねー！うん、うん！じゃ
あ有佐ちゃんは一？」

「はい！あたしはーアソビストアで発売中のミリシタ7.5周年を記念した記念限定商品、ミリオ
ンジュエルハーファニバーサリーエディションをおねがいたよ！」

「えええ！？それって、どーゆーものなのー？」

「えっとねー、ミリオンジュエルハーファニバーサリーエディションはー、ワンとツー、二種類
のセットが用意されていて、最大で15%もミリオンジュエルをお得に購入することができるんだ
よ！」

「あ”ち”き”も”あ”ち”き”も”ー”！（低音）」

「こわいwww…こわいwww…」

「こうにゆうは、ワンとツーを、おひとり様、おひとつずつの購入なんだけどー、サンタさんな
ら沢山買って皆にプレゼントしてくれるよねー！」

「それじゃあみんなで」

「お”ね”が”い”し”よ”う”」

「サンタさん、私達にミリオンジュエルハーファニバーサリーエディションをくださーい！
！」

「んー、くれるといいね！みんなのお願い、ちゃんと聞いて、あっ…あら、あら…いい子のプロ
デューサーの皆さん！サンタさんとは言わず、自分で、自分に、自分の力で！プレゼントしてみ
ませんかー？どうですかー？その時はぜひ、アソビストアをチェックしてみてくださいねー！」